

鈴新創業80周年

きょう1日で創業80周年を迎える鉄鋼二次製品流通の鈴新。創業から現在までの歩み、将来に向けての展望などを鈴木猛社長に聞いた。

(伊藤 健)

——創業80周年を迎え 畜針製作所の3社の得意先を分けて頂いた。その

「当社の歴史は1924年に先代社長の鈴木新機針用の鋼線を納める仕助が実家と取引のあった事。レコード針が当社の野崎栄蔵商店へ奉公に入

ったときから始まった。

「その後、燃料用輸送

野崎栄蔵商店は明治に神田で釘鉄銅物問屋として栄えた紀伊国屋三谷本店、その一番番頭だった浅井半七氏の紀の半（通旅籠町）の流れを汲んでいる」

「奉公を10年余り経た35年に宝町（現京橋）で間口2間×奥行4間の小さな店舗で独立した。野崎栄蔵商店から高砂ゴム工業と池田製針所、日本

鈴木 猛社長に聞く



小さくてもきらり光る会社

堅川線材、杉田製線などから何とか鋼線を調達して通信向けなどに納入していた」

——創業者は人との出会いを大切にされた。

「当社ではいち早くダットサントラック（当時1台約1500円）を導入した。このときの縁で、日産セールスマンで後に東洋電機通信工業（現ミライト）社長となる岸田

「戦前から鋼線を扱っ

ていた知見があったため、様々な需要分野へ事業が広がっていった。東洋製鋼との共同事業ではワイヤーロープのトヨロック、また日本で初開発のロックマットやタイロップなど。また自動車の普及とともにビードワイヤーの事業の拡大、このほか通信関連では日本各

地のインフラ整備などで大きく伸びていった」

——光海底ケーブル用異形線も大きな事業となった。

「日本大洋海底電線の（現OCC）を訪ねた際、海底ケーブルの光ファイバーを包む金属の開発案の情報を得た。たまたま目にしたナミティの異

鈴新 創業80周年	
1935年	先代社長・鈴木新助が京橋で創業鋼線・釘・針金類販売の商店を始める
39年	合資会社鈴木新助商店を設立
48年	株式会社鈴木新助商店を設立
53年	横浜ゴム向けビードワイヤーの納入始まる
68年	現社長・鈴木猛が入社
81年	商号を鈴新に変更
82年	鈴木猛が社長に就任
90年	光海底ケーブルの開発に携わる
90年	京橋本店所在地に京橋YSビルを竣工
2000年	増資により資本金6600万円となる
05年	神田事務所に本社を統合する
06年	KES環境認証スタンダードステップ2取得
11年	第3回千代田ビジネス大賞を受賞
13年	東京商工会議所より50年会員表彰
15年	創業80周年を迎える

時代変化に合わせ新商品

形線の広告をもとに、ナミティと開発を進め、異形線で長尺三分割個片の開発に成功した。時代の先を読み、顧客と新商品を共同開発し、ビジネスに発展させていくという鈴新流のビジネスにつながった」

——近年はKES取得や千代田ビジネス大賞を受賞。

「日立建機のグリーン調達要請から環境認証KESを取得することになった。環境問題への取り組みや環境関連の事業を視野に、10年には環境・

索している」



京橋・昭和通りに面した創業当時の店舗

「今期（16年5月期）は売上高30億を見込んでいる。従業員は役員含めて23人と小所帯ながらも、よく先代が口にした『うちあたりは…』という分相応、小さくてもきらりと光る会社をこれからも目指していきたい」